

八ヶ岳南麓 原生花保存会

「人と自然が共存する持続可能な美しい地域づくり」を目指し、近年急速に減少している地域原生の草花などを対象に保護活動を行っています。

北杜市の自然環境や生き物の命を守るために
“原生ビオトープ” を歩きましょう。

え！

そもそも “原生ビオトープ” って何？

また何で 歩くことが自然や生き物の命を守ることにつながるの？

“原生ビオトープ”とは

ビオトープは、地域の野生の生き物たちが（バイオ）、生活をする空間（トープ）を意味するドイツ語です。

また、ここでの原生は “原生の種類”（=この地の昔からの在来種）を指しています。

生き物が命を次代に繋いでいくためには、命を繰り返すことができる場所（ビオトープ）が非常に非常に重要なのです。

命豊かな星であったはずの地球では、人間社会の発展に伴い多くの命が絶滅の危機に曝らされているのが現実です。

都市化を否定するのではなく、都市化に合わせ在来の生態系を守る場所を積極的に作っていくことが人間の責務なのです。

でも何で ビオトープを歩くことが自然を守ることにつながるの？

これは人間社会と地域の自然を未来まで共存させ続けるためです。

八ヶ岳南麓 原生花保存会では、人と自然の良い関係を未来まで持ち続けるための具体的な方法として、“原生ビオトープ ウォーク” を提案し、そのトライアルとして大深沢川遊歩道の一部箇所を整備しています。

この管理費用に北杜市環境保全事業補助金を活用させて頂いております。

在来の生態系を守る場所を作り、原生種の育成管理を行い、その場所をウォークコースとして活用することにより、生物多様性を保全すると共に、北杜市の観光、地域住民の生活の質向上などに結び付くことを目指しています。

八ヶ岳南麓 原生花保存会では 北杜市環境保全事業補助金を活用し二つの事業を行っています。

1) 原生ビオトープウォーク 大深沢川遊歩道部分の整備（トライアル）

前記説明の通り、人間社会と北杜市の自然を未来まで共存させることを目的として、ビオトープ育成管理の知識・手法を活用し整備を行っています。



ニリンソウ



ツリフネソウ

※ 春の妖精〔スプリングフェアリー〕と言われるイチゲ類から開花が始まり、秋まで北杜市の多くの花々が見られるウォークコースです。

2) 長坂町森林公園 原生野草コーナーの整備

長坂小学校や中学校の近くにある長坂町森林公園内に地域原生の野草を植栽した野草コーナーを作り管理を行っています。

今は少なくなってしまったこの地域の野草などを、保護の目的を兼ね森林公園内に自然な状態で再現し、子供たちや地域の住民に憩いの場として、さらに自然観察の場として利用してもらおうという取り組みです。

案内リーフレット 設置場所

“原生ビオトープ 大深沢川コースのご案内” と題したリーフレットを作成しております。

- ・長坂駅前 観光案内所
- ・きららしティ 観光案内所
- ・グリーンヒル八ヶ岳 など



フシグロセンノウ